

フランスから見た#MeToo 運動 ——ラファエル・リオジエ 『男性性の探究』をめぐって

連続討論会 1/2

【日時】

2021年7月22日（木）
18:30～20:30

【場所】 @Zoom ウェビナー ※要登録

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_d6afrVpyQp2SYZG4zqedZg

上記 URL もしくは右の QR コードよりご登録を
お願いいたします。



【言語】

日仏同時通訳 Japanese and French

【登壇者】

ラファエル・リオジエ

Prof. Raphaël LIOGIER エクス=アン=プロヴァンス政治学院教授

隠岐さや香

Prof. OKI Sayaka 名古屋大学教授

大嶋えり子

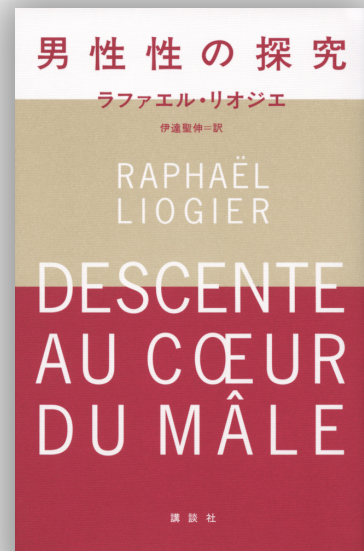
Prof. OSHIMA Eriko 金城学院大学講師

【司会】

増田一夫

Emeritus Prof. MASUDA Kazuo 東京大学名誉教授

フランスの哲学者・宗教社会学者であるラファエル・リオジエは、#MeToo運動をきっかけに男性としての居心地の悪さを覚え、本書を書き出した。彼は、歴史的に培われてきた男性支配の構造を批判的に見直し、女性の意志を認めることによって男女関係を再編することを提唱している。本書の問題提起と中核的なメッセージは、議論を通して広められるに値する。本討論会では、フランスの思想・政治・社会・歴史に詳しい登壇者を集め、#MeToo運動とそれに関連する諸問題を多角的に検討する。



【主催】

科学研究費補助金 基盤研究 (B)
「結婚の歴史再考——フランスの事情から見る (ポスト) 結婚、生殖、親子、家族」

【共催】

東京大学東アジア藝文書院
East Asian Academy for
New Liberal Arts